

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>1. 友生養護学校の移転整備について</p> <p>私も先程の山口議員の話に感動した。友生養護学校の保護者の気持ちに立てば、大変な問題だということがよく理解できた。</p> <p>私は、「神戸を子育てが日本一しやすいまちにする」と言っている。子育ての子どもは、健常者の子どもだけではない。全市民の子どもたちが、日本一の子育てを受けられることを言っている。</p> <p>教育長をはじめとする教育委員会の答弁を聞いていて、一生懸命取り組んでいるのだと思うが、いかにも手続きに問題があったと思うし、そのようなことが大きな誤解になって、保護者の方に大変な不安を与えてしまったと思う。教育長はそのことを認めており、今後間違いなく不信感を払拭すると言っている。</p> <p>本当にこれからの努力は大変なものになると思うが、その覚悟を持ってやるのかどうか。その決意を持って進め、保護者の方が安心でき、また納得できるように努力を続けてもらいたいと思う。教育長の決意を伺いたい。</p> <p>(要望)</p> <p>障害のある子どもを持つ親は、子どもを育てていくうえにおいて、大変なハンデを負っている。また、子どもの将来を思えば、「絶対に子どもより先に死ねない」という気持ちで大変な思いをしている。この問題は、そのような親の立場に立って、教育委員会をあげて、本当に真剣に取り組んでももらいたい。</p> <p>友生養護学校の問題は、誰もが「良かった」と言って安心できる解決をしていただきたい。教育長の決意を聞いて安心したが、教育長だけでなく、教育委員会や事務局全体で全力をあげて取り組んでももらいたい。</p>	<p>橋 口 教 育 長</p>	<p>ご指摘のとおり、あまりにも形式的過ぎたという面がある。そのようなことから、いろいろな関係者に心配をかけ、意見をいただいている。今後、さらに意見を聞く場を設定するなど、このようなことがないように、教育委員会に対する不信感を払拭できるように、「共に立派な新しい学校をつくっていく、共に汗をかいていく」という意識を持って、最大限の努力をしてまいります。</p>

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>2. 障害のある幼児への対応について 友生養護学校は、小中学生は対象だと思うが、幼稚園児も対象となっているのか。また、一般の市立や私立幼稚園には、肢体不自由児や知的障害児は入れないのか。</p> <p>(再質問) 幼稚園児ということであれば、4歳からである。それでは、3歳以下の子どもはどうするのか。</p>	<p>森 本 指 導 部 長</p> <p>井 戸 特 別 支 援 教 育 課 長</p>	<p>友生養護学校は、幼稚園児、小学生、中学生が対象である。高校生は対象となっていない。</p> <p>幼稚園以前の子どもについては、保健福祉局の所管である福祉施設に入所したり、病院に入院する子どももいる。</p>

質疑者 北山 順一 委員

会派名 新政会
(教 育 委 員 会)